

作業時間の観測が容易で改善活動に役立つ



作業観測・時間を検証

久野金属工業、スマホなど活用

改善活動用アプリ開発

【名古屋】久野金属工業（愛知県常滑市、久野修社長、0569・43・8801）は、スマートフォンやタブレット端末（携帯型情報端末）のカメラを使い、作業時間の観測ができるアプリケーション（応用ソフト）を開発会社でシステム開発会社のマイクロリンクと開発した。繰り返し作業を行う現場の改善活動に役立つ。米アップルのiPhone（アイフォン）とiPad（アイパッド）向け。価格は500円で、アプリ配信サイトからダウンロードする。3月末までは無料。

開発したアプリ「TP Sカメラ」は撮影画面上に累計観測時間とラップタイムを表示する。作業内容を確認しながら作業時間の検証ができる。手にでの作業時間が計測しやすい0・1秒単位で計

測する。動画撮影も同時に行うため、写真ではわかりにくい事象も確認できる。ファイル名登録ができ、複数の作業を撮影しても整理がしやすい。

久野金属工業は車のエンジンやブレーキ関連部品などの精密プレス加工を手がける。同アプリは自社生産現場の改善活動

用に開発した。実際に同社が導入したところ、ストップウォッチ計測とビデオ撮影を組み合わせた従来手法に比べ、観測・分析時間が3分の1程度の約10分に短縮。観測精度の向上にもつながったため、外販を始めた。

改善活動のための作業時間観測は時間計測と記

録を別々の人が行うケースもある。同ソフトを活用すると一連の作業が1人で行える。製造業だけでなく、流通や飲食業など繰り返し作業を行う幅広い業種向けにアピールする。販売はマイクロリンクが担当。2015年3月期に3万ダウンロードを目指す。